

大学名：国立大学法人 群馬大学

事業の名称 「地域対応型」と「業界対応型」インターンシップの充実による留学生のGUNMA定着促進プログラム

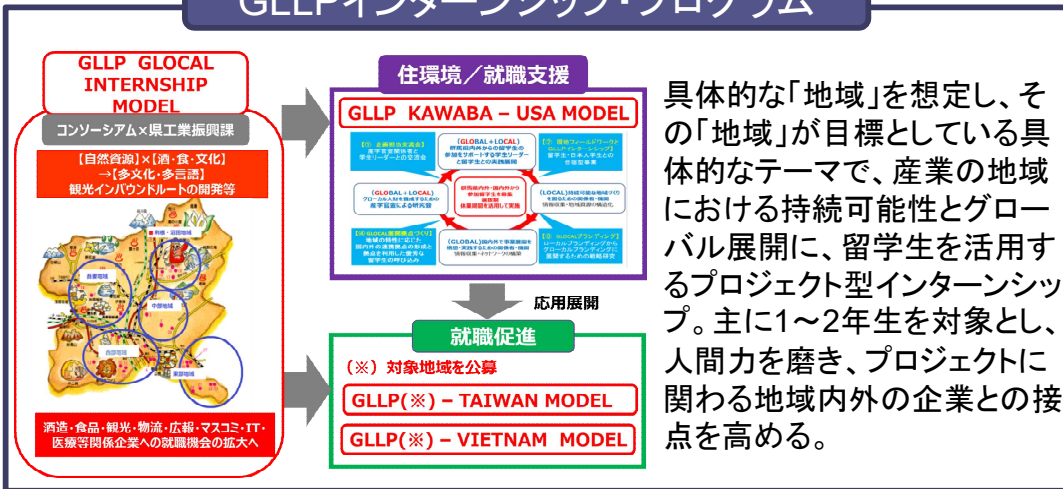
事業の目的 地方型留学生受入れ環境整備モデルを構築・普及し、留学生が卒業後も活躍する日本の磁場を形成する。

- 事業の目標
- ① 地方か・都心か・海外かという選択肢がある留学生の地方への定着促進モデルを構築する。
 - ② 国内の地方に生活基盤を置き、持続可能な地方づくりを進めながら産業を拡充し、国内外で事業展開を構想・実践できるグローバル人材を養成する。
 - ③ 職場や地域で留学生が活躍できる環境を整備し、卒業後も留学生が群馬に定着する実績をつくる。

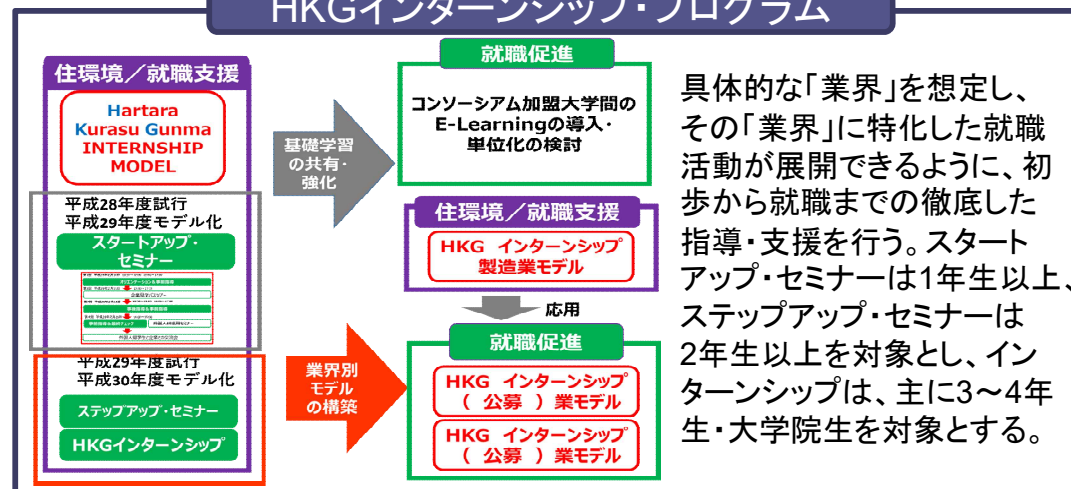
- 取組の特徴
- ① 地域からの要請である、より多様な「地域」・より多様な「業界」への留学生就職促進に対応するため、地域対応型と業界対応型の2つのタイプのインターンシップを設定し、教育プログラムを開発・実施する。
 - ② 県内10高等教育機関、8地方公共団体、22民間団体等が加盟する産学官金40団体からなる「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアムを主体とし、オール群馬で取り組み、効果的な事業推進を図る。

取組の内容 地域からの要請である、より多様な地域・より多様な業界への留学生就職促進に対応するため、地域対応型のGLLPインターンシップ・プログラムと業界対応型のHKGインターンシップ・プログラムを提供する。

GLLPインターンシップ・プログラム



HKGインターンシップ・プログラム



数値目標例

① 県内在学の留学生の群馬県内の就職希望を	16.4% (H26年度) → 50%以上 (H31年度) に
② 県内企業の留学生採用意向を	17.6% (H27年度) → 50%以上 (H31年度) に
③ 留学生採用セミナー・インターンシップ企業等数を144社	(H26年度) → 170社以上 (H35年度) に
④ 県内大学の留学生の就職実績を	80人 (H27年度) → 145人以上 (H35年度) に